歴史民俗資料館通信

日光市中央町29-1（今市図書館隣） ☎(22)6217
開館時間　午前9時～午後6時（入館無料）
休館日　毎週月曜日、祝日

◇企画展紹介⑧「ミニ恐竜展～パーツもビッグな爬虫類～」③

植物食の恐竜は、肉食恐竜の餌となるために存在していたわけではありません。彼らもまた、自分自身の身を守るため、さまざまな工夫をしました。

最大の急所である首を守るため、大きな襟飾りをつけたプロトケラトプス（写真①）や、トリケラトプスの仲間たち。「攻撃は最大の防御」ということで、尻尾の先端にハンマーのような、骨質のこん棒を持ったアンキロサウルス（写真②）。尻尾の先端に4本のとげを付けたステゴサウルス（写真③）。

①

②

③

このとげで傷ついた肉食恐竜の化石も発見されています。しかし、実際には積極的に戦わず、逃げ切れなかった時に利用したと考えられます。

❖催し❖

◆講座「恐竜のパーツのはなし」
7月29日（日）

◆講座「恐竜のパーツ（歯、つめ）を作ろう」
8月4日（土）・5日（日）

◆ワークショップ「恐竜の折り紙を作ろう」
7月28日（土）・29日（日）、8月4日（土）・5日（日）

小杉放菴記念日光美術館
〒321-1431 日光市山内2388-3　TEL：50-1200
ホームページ　http://www.khmoan.jp/

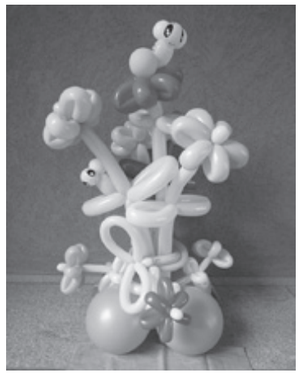
KOSUGI HOAN MUSEUM OF ART, NIKKO
市民割引券
（1枚につき、5名様まで有効）
小杉放菴記念日光美術館
切り取ってご利用ください

風船でつくる夢の世界２０１２

昨年大好評を博したバルーンアートのイベントを今年も開催します。

膨らませた色とりどりの風船を、ひねったり、結んだりすることで、さまざまな形をつくるバルーンアートは、子どもから大人まで思わず夢中になってしまう、魅力あふれる世界です。この機会に、ぜひバルーンアートをご体験ください。

と　　き：8月19日（日）　午前11時～午後3時
講　　師：小林 稔（こばやしみのる）氏
参 加 料：無料
内　　容：バルーンアートの実演と体験、実演作品のプレゼント
参加方法：事前申込みは不要です。開催時間内に随時ご参加ください。


バルーンアートを楽しんでみませんか

❖展覧会「中村直人（なかむらなおんど）　彫刻の時代」
会　　期：9月9日（日）まで　※毎週月曜日休館
開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
入 館 料：一般…700（300）円、大学生…500（200）円、高校生以下…無料
※（　）内は市民割引券を利用した際の料金です。

KOSUGI HOAN MUSEUM OF ART, NIKKO
小杉放菴記念日光美術館

参加者の声でつなぐ

公民館の教室・講座紹介

⑮グラウンドゴルフ教室（足尾公民館）

足尾公民館のグラウンドゴルフ教室は、6～10月の間で全10回開催しています。

この教室には外部からの講師は特にいませんが、ルールとプレー方法がとても簡単で、初心者でも、スポーツが苦手な方でも十分に楽しめます。

近年、高齢者を中心に大変人気のあるスポーツで、毎回約40名以上が技術の向上を目指して、参加しています。

取材当日は天候に恵まれずあいにくの小雨でしたが、38名の参加がありました。

教室に参加していた村上（むらかみ）さん（足尾）に聞きました。

Qグラウンドゴルフを始めたきっかけは何ですか。

A20年以上前に、老人クラブでニュースポーツとしてグラウンドゴルフが始まると聞いて、見学に行きました。自分にもできそうだと思ったので、健康のためにもやってみたのがきっかけです。

Qグラウンドゴルフの魅力を教えてください。

Aこのスポーツに関わる人と人の輪が広がるところや、健康にも良くけがなく簡単にできるところです。何よりも一番の魅力は、高齢者社会の中では無くてはならない絆ができるというところです。私にとって生きがいですね。

皆さんの楽しそうな表情と時折見せる真剣な表情、そして歓声の沸き上がる会場の一体感が印象的でした。

緊張の第1打

皆が見守る中ポストを狙います

ホールインワン！

市民文芸

川柳　選者　日野原冗児

サヨナラが苦手な君の置手紙　安井貴子
孫一人行く先々のポチ袋　斎藤康則
台所男一人のさしすせそ　青木照雄
おいタ日運の悪さを連れていけ　福田英子
子のための布石は見えぬように打つ　福田恒産
塩漬けにされた話の出番待ち　田中来川
回り道辿（たど）れば父の靴の跡　大橋芳明

俳句　選者　須藤火珠男

晴天の畔（あぜ）に茶を汲（く）む花うつぎ　渡辺ミチ子
半袖の手の振り方も父に似て　白土武夫
変身の愉（たの）しさありぬサングラス　星野恒志
杖ついて孔雀（くじゃく）集まる食事会　北崎君
久々に街ゆくための薄衣　星野シズ
藤の香（か）をまとふ窓辺の風さやか　徳本英子
足病んでをり一面の芝桜　湯沢くに

短歌　選者　阿久津仲一

雨抱（いだ）きあやめ清（すが）しく咲きにけり今を極めて散るを惜しまず　関根眞佐子
新刊の家の光を届けたり農に生きたる卒寿の母に　狐塚昭子
毎年の害に悩みし鴨鳥（かもからす）なぜか植田に姿を見せず　根立郷美
米余る事を知りつつひたすらに農人（のうじん）われは今日も田植えす　池田三夫
旭天鵬（きょくてんぽう）二十年の初優賞横綱白鵬（はくほう）花道つくる　大森トミ子
駄々こねしお泊り保育の夜が明けてスカッとさわやか元気に帰宅す　青木照雄

◇お詫びと訂正（再掲載）

7月号の俳句に誤字がありましたので、お詫びして再掲載します。

五月雨（さみだれ）や落葉松林甦（からまつよみがえ）る　渡辺ミチ子

作品を募集しています！

川柳・俳句・短歌を募集しています。氏名（ふりがな）、住所、電話番号を明記して、郵送またはFAX、メールでご応募ください（二重投稿は不可）。

応募先及びくわしくは
秘書広報課　広報広聴係
☎(21)5135・FAX(21)5109